

授業科目名	音楽表現演習	担当教員名	河野 佑美
科目区分	教職・保育に関する科目	施行規則に定める 科目区分 等	大学が独自に設定する科目-保育の内容・方法に関する科目
必修・選択/単位数	必修 / 1単位 (30時間)	授業方法/担当形態	演習 / 単独
開講学年/学期	後期 (3-4期) / 年間開講数 2講座	特記事項	
授業の概要 及び 全体目標	表現領域の中で音楽が果たす役割を踏まえて、実際に幼児音楽を用いて器楽合奏や編曲を学び、幼児がより楽しく音楽表現ができる方法を探ると共に自身の表現力を豊かにする。発表会を通して他者と協力し計画的に課題を進められる力、実践に繋がる音楽表現の方法や練習方法を養う。		
到達目標	幼児の合奏で使用する楽器の正しい奏法を身に付け、自らの感性を楽器で表現できるよう目指す。様々な合奏曲に触れ、幼児の年齢別の音楽理解度を把握し、適切な選曲ができるようにする。また、これまでに学んだ音楽知識を応用して編曲を行う。発表会の準備から模擬開催を体験し、必要な準備や当日までの計画を立てて行動する力を養う。		
テキスト	自主プリント		
参考書・ 参考資料等	「平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本」(株式会社チャイルド本社)、新・保育内容シリーズ 音楽表現 三森 柱子 著「打楽器教則本 小太鼓・大太鼓 編」全音吹奏楽器教本9 (全音楽譜出版社) 今村征男 著		
成績評価の方法	内容の知識理解：理解度・到達度チェック(実技) 60% 学習への興味関心：学習への参加意欲 10% 活用する技術：表現、発表 30%		
授業外（事前・事後）学習の方法、オフィスアワー等	事前学習については授業で指示する。事後学習については毎回コメントシートを提出。 オフィスアワー：授業終了後、質問事項を質問シートに記載し、学務室経由で提出してください。		
授業計画	授業の内容		到達目標番号
第1回	小太鼓演習① 姿勢、基本の打ち方、年齢別練習方法を知る / 合奏 年齢毎に使用する楽器の種類、舞台配置を知る / 行進曲の合奏① パート決め、パート練習 (2曲同時)		
第2回	小太鼓演習② 練習曲1番、2番 / 行進曲の合奏② 全体練習 / 指揮法① 拍子毎の指揮法の理解		
第3回	小太鼓演習③ 練習曲1番、2番 復習 / 行進曲の合奏③ テンポアップやバランスの調整、発表の流れを理解する / 指揮法② 強弱の表現、旋律の交差の表現 課題曲の発表		
第4回	小太鼓演習④練習曲3番、4番 / 行進曲の合奏④ 発表 撮影し、視聴して振り返る / 指揮法③ 課題曲の練習 構成を把握する 【ICT機器の活用】		
第5回	小太鼓演習⑤練習曲3番、4番 復習 試験曲発表 / 複雑なリズム曲の合奏① パート決め、パート練習 / 指揮法④ 課題曲の練習 撮影し改善点を考える		
第6回	小太鼓演習⑥ 中間試験 / 複雑なリズム曲の合奏② 全体練習 / 指揮法⑤ 最終確認		
第7回	小太鼓演習⑦ 練習曲5番、6番 / 複雑なリズム曲の合奏③ テンポアップやバランスの調整 / 指揮法⑥ 課題曲の確認試験と振り返り		
第8回	小太鼓演習⑧ 練習曲5番、6番 復習 / 複雑なリズム曲の合奏④ 発表 撮影し、視聴して振り返る / クラシック曲の合奏① パート決め 【ICT機器の活用】		
第9回	小太鼓演習⑨ 練習曲7番、8番 / クラシック曲の合奏② パート練習、全体練習		
第10回	小太鼓演習⑩ 練習曲7番、8番 復習 試験曲発表 / クラシック曲の合奏③ テンポアップやバランスの調整		
第11回	小太鼓演習⑪ 試験 / クラシック曲の合奏④ 発表 撮影し、視聴して振り返る、行事用合奏曲課題① 曲の選択 / 子どもの歌作曲課題① 作曲方法を知る 【ICT機器の活用】		
第12回	小太鼓課題⑫ 練習曲9番、10番 / 行事用合奏曲課題② 構成確認、パート決めとパート練習 / 子どもの歌作曲課題② 曲のテーマと構成の作成		
第13回	小太鼓課題⑬ 練習曲9番、10番 復習 / 行事用合奏曲課題③ 全体練習 / 子どもの歌作曲課題③ 歌詞と旋律の作成		
第14回	小太鼓課題⑭ 練習曲9番、10番 速度を上げる 課題曲発表 / 行事用合奏曲課題④ 試演しながら音の重なりを工夫し、整える / 子どもの歌作曲課題④ 伴奏の作成、記譜を仕上げる		
第15回	小太鼓課題⑮ 理解度・到達度チェック(実技) / 行事用合奏曲課題⑤ 発表 撮影し、視聴して振り返る / 子どもの歌作曲課題⑤ 発表と振り返り 【ICT機器の活用】		